

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	転移の発見に FDG-PET が有用であった悪性黒色腫の 2 例	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	MMC Q 2 3 - 1 0	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1 つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (V)	
	Pubmed ID	15522655	
	医中誌 ID	?	
	雑誌名	皮膚科の臨床	
	雑誌 ID		
	巻	47	
	号	10	
	ページ	1381-1386	
	ISSN ナンバー	0018-1404	
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (1)	
	発行年月	2005、Nov	
	著者情報		氏名
筆頭著者		平野貴士,	金沢大学医学部
その他著者 1		越後岳士,	
その他著者 2		藤本晃英,	
その他著者 3		森田礼時,	
その他著者 4		白崎文朗,	
その他著者 5		竹原和彦	
その他著者 6		八田尚人,	
その他著者 7		河野匡哉,	
その他著者 8			

一次研究の 8 項目	目的	FDG-PET の有用性の報告	
	研究デザイン	症例集積研究	
	セッティング	金沢大学医学部皮膚科	
	対象者	70 歳男、54 歳男の悪性黒色腫患者 2 名	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず （ 1 ）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず （ 1 ）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず （ 15 ）	
	介入（要因曝露）		
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	転移検出率	1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ）
	2		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	3		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	4		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	5		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	6		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	7		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	8		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	9		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	10		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	主な結果	FDG-PET で項部、小腸の転移が検出された。小腸転移は同時期に施行した CT では発見されず、手術で切除可能であった。	
	結論	StageIV でも FDG-PET を用いた転移の早期発見で生存期間の改善が期待できる	
	備考		
レビューワーコメント	レビューワー氏名	八田尚人	
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（V ） 2 例報告であるが、FDG-PET を定期検査に用いることの有用性を示唆する論文	